よむギカイ

News from
Inabe City
Council

No.81

いなべ市議会だより／令和６年／３月定例会

一般社団法人いなべ市観光協会主催
第８回いなべ市観光写真コンテスト作品
「お見送り」　太田正平さん

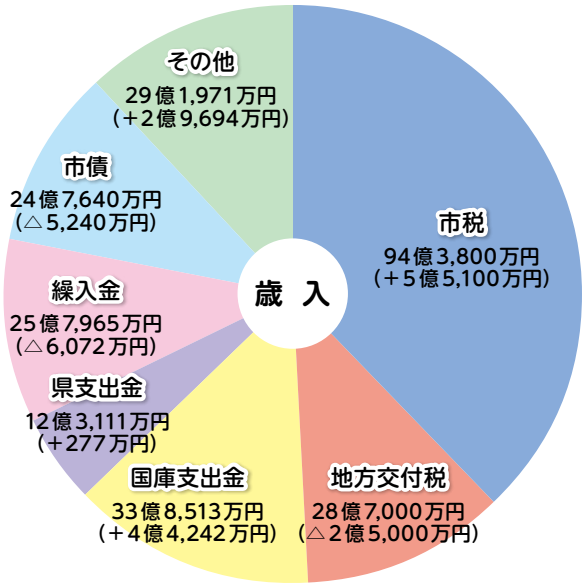
P2～　令和６年度予算
P4～　代表質問
P9～　3月定例会のようす
P14～　一般質問
P19　市民の声

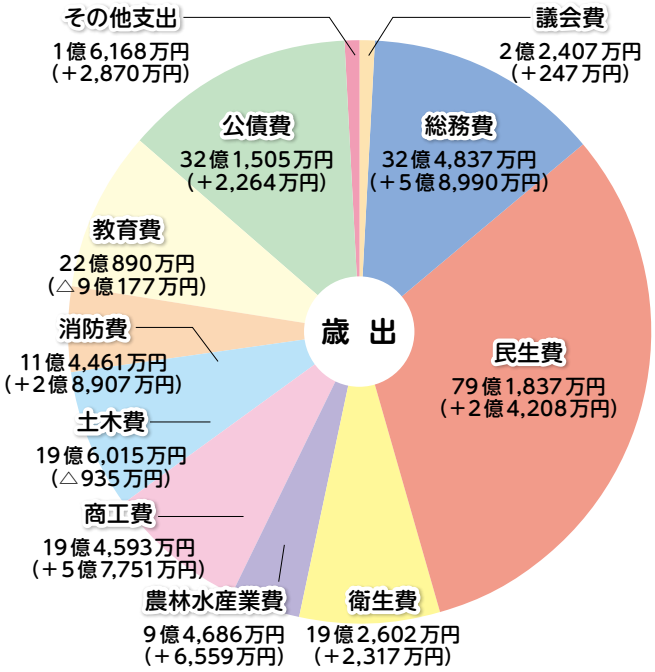
令和6年3月定例会 令和6年度予算案を審議

2月21日から3月22日までの31日間開かれた3月定例会で、令和6年度の予算案が提出され、慎重に審議を行った結果、賛成多数（賛成15人　反対2人）で可決されました。

一般会計

※グラフ（　）内は前年度比





議会からの提言は

令和5年9月定例会で、議会から市長へ予算編成に

施策名

安定給水の推進

令和5年1月には凍結による漏水、断水などが起きた。このような事態への対応を今以上に用意する必要がある。

凍結による漏水、断水が少しでも減少、管理するように今まで以上にあらゆる手段を使い、広報活動を行う。

予算への反映
- 給・配水管・配水設備修繕……4,600万円
- 施設更新事業（水道拡張費）……6億6,280万円

など

施策名

災害に強いまちづくり（河川維持修繕改良事業）

河川の維持修繕については、個別計画に基づいて着実に進められた。

河川の点検、巡視を更に強化し、河川改修および河床整備を引続き実施する。

予算への反映
- 市単独河川維持改良事業（河川改修工事）……5,000万円
- 市単独河川維持改良事業（河床整備工事）……1,770万円

施策名

災害に強いまちづくり（自主防災活動事業）

自主防災組織の役割や必要性の認識は出来つつあるが、人的確保や高齢化など、地域ごとの課題を行政が把握する必要がある。

自助、共助を考えてもらう機会をつくり、市民の防災意識の向上を行っていく。福祉委員会とともに、平時からの地域の支え合いこそが、重要と捉え福祉委員会を通じて防災意識の向上を行う。

予算への反映

不足した場合は、補正予算で計上する。

施策名

森林の適正管理の推進

基金本来の目的にふさわしくない事業が含まれている。他部署充当などは避け、里山整備事業など本来の目的に沿った活用とすべき。

充当を見直し、危険木除去事業の拡充や、県の補助金を活用した森林整備事業に対し、補助金の上乗せ補助を行う。

予算への反映
- 里山竹林環境保全支援事業費補助金の予算増額
- 他部署充当の停止

など

令和6年度予算　総　額　401億5,996万円

（前年度比 +16億1,007万円）

一般会計	249億円	（前年度比 +9億3,000万円）
特別会計	98億3,654万円	（前年度比 +5,405万円）
企業会計	54億2,343万円	（前年度比 +6億2,602万円）

特別会計

国民健康保険	45億7,515万円	前年度比	△1,144万円
後期高齢者医療	12億　71万円	前年度比	+7,007万円
介護保険	40億6,068万円	前年度比	△458万円

企業会計

水道事業	25億3,420万円	前年度比	+5億9,095万円
下水道事業	28億8,923万円	前年度比	+3,507万円

※数値については、原則として千円単位未満で四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

どう反映された？

向けての提言を行い、次のように反映されました。

施策名

地域に開かれた学校づくりの推進

コミュニティ・スクールの効率・効果については今後の課題である。各地域と連携強化を図り、構築してほしい。

学校の実情や活動を知ってもらう情報発信や、学校と地域が協働して取り組む活動内容の工夫が重要になる。積極的に活動に参画しようとする地域住民が増えると予想される。

予算への反映

- 具体的な取り組みが未定のため、例年通りの予算編成を行う。

施策名

保育サービスの充実（健康こども部）

保育士不足の対応について工夫がみられないため、保育士確保の実効性のある対応を。

令和5年度の9月補正予算で保育士等就職祝金を創設し、正規保育士で市内保育園に就職する保育士に15万円を祝金として支払った。

予算への反映

- 公立保育園運営事業（人材確保）……3億4,149万円
- みえ子ども・子育て応援総合補助金事業（保育士等就職祝金）……300万円

施策名

保育サービスの充実（教育委員会）

放課後児童クラブは三里小学校区で待機児童が発生する可能性があるため、クラブ運営者と協議し、早急に対応されたい。

隣接する放課後児童クラブ「いしぐれっこ」に入所できない児童の受け入れを要請した。

予算への反映

- 委託事業から補助事業に変更
- 例年通り見込み児童数で積算

施策名

男女共同参画の環境づくり

男女共同参画に関する市民・事業所アンケートの調査結果が事業にどう反映されているのか確認できない。審議会等における女性の登用率も長年目標数値に達していない。庁内の体制を強化されたい。

男女共同参画推進委員会では、慎重な審議の上、意見をフィードバックして改善をしていくという、PDCAサイクルを実施。庁内で女性登用部会を開催し、登用率が上がらない原因の究明とその対策を求めていく機会を設ける。また、計画の進捗状況と推進委員会の意見を、ホームページで公表し、その内容を明らかにする。

※いなべ市長施政方針はLink4月号をご覧ください。
※4ページから「代表質問」を掲載。市長から示された施政方針に対して質問しています。

いなべ未来　林 正男　位田まさ子　岡 英昭　小川幹則　寺輪博樹

岡（おか）　英昭（ひであき）

↑録画配信サイトへ

菰野町と定住自立圏の形成へ

広域連携の推進

Q　菰野町との定住自立圏協議の進捗は。

A　令和6年6月に定住自立圏形成協定に関わる議案を提出する予定。そこから、具体的なことは進める。新しいごみ焼却施設の検討を広域で進めようとしている。

Q　他に考えられる菰野町との共通行政課題は。

A　バスの乗り継ぎ、観光面など。

消防団の体制強化

Q　消防団詰所の移転・統合により跡地の利用は。

A　北勢西分団の跡地はスクールバスの運転管理室および乗務員室に。藤原地区消防団の詰所と大安東分団詰所は今後、地域の皆さんと検討する。

災害復旧対策

Q　建設しようとする備蓄倉庫の備蓄品は。

A　旧藤原庁舎および周辺倉庫の解体を見据え、建設部所管の大型発電機等建設部が使用する資機材の確保スペースと考えている。

Q　戦没者慰霊碑を中心とする土地の整備を進めるうえで、祖国、郷土のため命を捧げられた英霊のためにも市民が参拝できる平和祈念施設の整備は市の責務ではないか。

A　条例に基づいた都市公園は難しいが、現状のまま皆さんがいつでもお参りできる施設となる。

保育園の認定こども園への移行

Q　3歳以上の子どもが通う保育園を認定こども園へ移行することで変化は。

A　1号認定児童は、親の就労証明なしで入園できる。2号認定児童はこれまで通り16時降園、1号認定児童は13時降園で、午後は有料で預かりを検討している。

医療の充実

Q　ふるさと納税を活用した寄附講座の設置協定で医師不足が解消されつつあるが、今後も安定した医師確保が担保できるか。

A　泌尿器科の常勤医体制が復活し、専門医の派遣など、徐々に医師不足は改善している。

Q　菰野厚生病院といなべ総合病院との連携に市・町が加わるメリットは。

A　市町がそれぞれの課題を共有することで地域医療を充実させるための有効な支援ができると考える。

Q　いなべ総合病院と日下病院に地域包括支援センターの支所設置を施政方針に記載した理由は。

A　入院医療から在宅医療介護への移行を円滑にすることが課題であるため、あえて記載した。

こども食堂の応援

Q　新しく立ち上げると1団体50万円を補助するとのことだが、既存の5団体への補助金は。

A　運営助成金として上限20万円を支給。

令和6年1月に開設された地域食堂いしぐれ

安全安心のまちづくり

Q　市内の家屋の耐震化の現状は。

A　1万6,910戸に対し耐震化率は80.6%。

Q　いなべ市が被災の場合支援してくれる自治体は。

A　桑員地区2市2町、三重県内全市町、県外では滋賀県東近江市、岩手県金ケ崎町と相互応援協定を締結。

発達支援と医療の連携

Q　いなべ総合病院の医師等の保育園、学校への巡回訪問の状況は。

A　令和5年度2月末現在で、保育園2園、小学校1校、中学校1校の4箇所を訪問し、6名のお子さんに対して、職員と情報共有および支援検討会を実施した。また3月には小学校1校の巡回訪問を予定している。

Q　市内の児童生徒が在籍するくわな特別支援学校や聖母の家学園等への巡回は。

A　校医がいるので、今のところ実施はしない。

片山　秀樹（かたやま　ひでき）

↑録画配信サイトへ

キャンプ場事業の目的を問う

安心安全のまちづくり

Q　無料の耐震診断は年間30件で予算を組んでいるが拡充し診断を促すことはできないか。

A　希望者が多ければ、国や県と協議し追加補正も検討する。

Q　市内25箇所の避難所のトイレが壊れた時は、全てマンホールトイレを設置できるのか。

A　22箇所85基設置できる。十社地区の田辺農業振興センター、川原多目的集会所は設置できないので仮設トイレで対応する。

いなべ市のブランド化

Q　にぎわいの森、宇賀渓キャンプ場、野遊びSDGs(梅林公園内)の事業への投資額とそれによる移住定住の数値目標は。

A　にぎわいの森事業は約5億8,000万円、宇賀渓キャンプ場事業は約9億円、野遊びSDGs（梅林公園内）事業は現在までで約16億5,000万円。移住定住の数値目標はない。

Q　事業者の経営が厳しい状況が続いている。経営が悪化し撤退の場合を考えているか。

A　新たな企業と連携をすれば問題ないと考える。

Q　東海環状自動車道の開通はいなべ市にとり絶好のチャンス。企業誘致を進め新たな投資、産業を生み出し未来へつなぐ。企業の従業員への住宅政策を進めることこそが移住定住政策ではないか。

A　企業誘致、住宅政策に力を入れていく。

整備が進む東海環状自動車道

くらしを支える公共交通

Q　年間208万人が利用する北勢線に対していなべ市は、老朽化による新車両購入も含めて三岐鉄道株式会社を支援していくということか。

A　引き続き支援をしていく。それが1番効率的と考える。車両は4年間は問題ないと聞いている。問題提起した東員町をどのように説得するかということになる。

水素ステーションの整備

Q　高コストで普及していくかわからない事業に企業でなく、いなべ市が率先して取り組む理由は。

A　2023年の脱炭素宣言で2050年に二酸化炭素の排出をゼロにする目標を掲げており、市民にも社会にも示していく義務がある。企業の皆さんと提携し、共同して進める。

Q　国は野立て太陽光事業への大幅な規制強化を4月から実施する。いなべ市も野立ての太陽光事業はやらないのか。

A　いなべ市発注の太陽光発電事業は公共施設の屋上などに設置する事業を進めていく。

歳入予算と財政状況

Q　全会計基金は83億円の残高だが特別会計基金(介護保険基金)の増え方が大きい。補正予算でも約1億8,000万円の減額している。介護保険料を減額する考えはないか。

A　今回の改定は基金を取り崩し、低所得者は値下げしている。これ以上の減額は将来に禍根を残す。

獣害対策とジビエ肉

Q　ジビエ工房によるジビエ肉の販売が年間190万円とあった。正確な売上なのか。いなべ市はどのような経営形態、売上目標を目指しているのか。

A　収益事業ではなく、自然の命をいただくという精神で取り組んでいる。

Q　獣害に強い作物として薬草栽培でカノコ草の栽培をしているが、補助金無しでビジネスとして成立し成長産業と考えているのか。

A　農地を守るという精神で取り組んでもらっており、補助金無しではビジネスとして成立しない。補助金が無くなれば終わりになる。

創風会　清水隆弘　伊藤智子　小寺徹翁

清水隆弘（しみず　たかひろ）

↑録画配信サイトへ

自治体間競争に負けないために

いなべ市のブランド化

Q　市長は、小学校区で児童が少なくなっている地域は民間の活力を利用し、住宅開発を進めていくと昨年の代表質問で答弁した。1年が経過したが、昨年紹介した長崎県諫早市の宅地開発への補助制度のように、民間が開発しない地域に限って民間事業者の開発を促すような施策は。

A　住宅メーカーに販売可能な場所を推薦してもらい、いなべ市や員弁土地開発公社での先行取得も視野に入れて進めていきたい。

Q　移住については、①交通の不便さ②文化芸術に触れあえる機会の少なさ③医療の充実④働く場所⑤学力、の不安がある。交通の不便さについては、北勢線を支援し残していく。働く場所は製造業を中心にサービス業も増えてきている。特に有配偶女性の労働力率が全国平均、県平均より高いのは特筆すべきこと。医療もいなべ総合病院の充実を図ってきている。しかし、文化芸術はどうしてもハード面、建物がない。また、学力は地方では学力が低いという負のイメージがある。学力だけでは図れない生きひらく能力、※ウェルビーイングも大事だが、この負のイメージをどう払しょくするか。

A　見える学力は大事だが、非認知能力をしっかりと幼児期からつけていけば、見える学力についても確実に、意欲を持って取り組むことで向上すると考えている。

※ウェルビーイング…身体的、精神的、社会的に良好な状態

安全と安心を築く

Q　火災現場にマイカーで駆けつける消防団員が多い中、消防団員マイカー共済制度の活用をして、団員の処遇改善をしては。

A　検討する。

支え合いで幸せを築く

Q　北勢線で通っている学生に対して通学定期代金の一部を補助し、市民に直接的に支援するような施策を考えてはどうか。

A　追加の財政支援は難しい。

健やかな育ちを築く

Q　旧大安庁舎付近には大井田城跡もあり、子育ての拠点とするには、屋内施設・屋外の公園等の施設整備が必要であると考えるが。

A　温水プールと連携した健康増進施設と子どもたちが川や森で自然体験でき、室内でも何か興味をもって挑戦できる施設を整備したい。

未来への学びを築く

Q　近隣市町で中学3年生へのピロリ菌検査が進んでいる。先行自治体では、教育現場からは養護教諭の負担が増えるが、早期発見に勝るものはないとのことで、やってよかったとの声を聞いた。また、子どもがピロリ菌に感染していると保護者もほぼ感染していることが多い。本市での実施は。

A　他市町の状況は市民、町民の健康づくりの一環で実施されていて、教育委員会が実施主体ではない現状があるので、教育委員会としては実施するつもりはない。

近隣市町の中学3年生に対するピロリ菌検査（尿検査）の実施状況

	受診者数（人）	陽性者数（人）	陽性率（%）	一人当たりの検査費用（円）	検査委託先
亀山	281	16	5.7	509	亀山薬剤師会
四日市	2,534	136	5.4	1,100	四日市薬剤師会
東員	187	12	6.4	380	民間業者

各市町に清水隆弘がヒアリングし作成。なお、亀山・四日市市は除菌費用（約1万円）も全額補助。

活力ある未来への礎を築く

Q　にぎわいの森に新しい店舗を誘致する、親子連れが来場しやすいように公園・遊具の整備などの考えは。

A　ブドウ園の跡地を活用して国の補助を探している。

渡辺一弘（わたなべかずひろ）

↑録画配信サイトへ

「獣害対策」に今以上の危機感を

有害鳥獣の被害は深刻化

Q　有害鳥獣の被害は深刻化、広域化している状況である。農業基盤整備のためにも獣害の解決は今後さらに重要な課題と考えるが、獣害対策への市長の所見は。

A　集落全体で獣害対策をすることが大事。農地でエサとなる農作物をなくす。集落が一致団結して花火などで追い払う。農地山林で獣の隠れ場所をなくすことが獣害の軽減につながる。また出前講座で有害鳥獣を寄せ付けない対策が必要。

Q　サルやシカが通学路に出没し、子どもたちの安心安全が脅かされている。また保育園にサルが出没し園児が危険にさらされている。子どもの生命に関する問題であり、通学路や保育園などの獣害対策は、今以上の危機感で取り組まなくてはならない。獣害対策課の職員を増やす考えは。

A　獣害対策は大変苦慮をしているので市民の協力なしでは解決は難しい。追払いをしっかりと行ってもらうため、説明会を随時開催している。獣の生態を理解し自治会単位での出前講座を推進していく。

民家の木に群がるサル

安心安全なまちづくり

Q　昭和56年以前建築の家屋の耐震化の実態把握は。

A　平成30年度末のいなべ市での状況は、建築住宅総数4,610戸、そのうち耐震性のある住宅は1,332戸。

Q　災害支援物資の中継や災害支援隊の駐留基地として使用可能な施設とは、どういった施設を整備するのか。

A　麻生田に備蓄倉庫を作り、大型発電機や資材の確保スペースとして利用する。

Q　その施設建設は、いつまでに整備するのか。

A　令和6年度に設計し、令和7年、8年の2年間で整備する。

交通安全と市道の整備

Q　「通学路の安全を確保」とあるが子どもたちの利用する通学路で、歩道や横断歩道がない通学路があるが把握しているのか。

A　通学路に関しては学校と保護者と協議をしている。教育委員会を通じてマップとして保管している。

Q　4月から1年生から6年生の全学年を合わせ、小学2年生の女の子がたった一人で2.5㎞の距離を歩いて通学する地域の子どもがいる。4月からの通学路の安全の確保の徹底は。

A　学校からの要望があれば、警察や桑名建設事務所、本市の建設課を含めた通学路安全推進会議の中で検討をしている。

暮らしを支える公共交通

Q　近年、高額となっている北勢線の学生利用者への定期代の補助の検討を。

A　追加の財政支援は難しい。

Q　もっと利用しやすい福祉バスとなるよう、市民の声を聴いて実態やニーズの把握をするべきでは。

A　重要度、満足度の質問のほか、日常生活で使う交通手段としてのアンケートを実施した。
運転手や福祉バス管理室へ寄せられた貴重な提案やご意見を反映できるよう改善していきたい。

農地の集積と担い手の集約

Q　いなべ市の農業における課題は。

A　水路等の施設の老朽化や除草作業等の人員不足による集落の荒廃。担い手が離農、農地所有者の意識の希薄、自作農の離農、獣害被害など。

Q　担い手不足の課題をどう解決していくか。

A　担い手の確保に向けてJAを通じて探している。大型機械やドローンの導入で作業を軽減し、担い手の確保に取り組む。

日本共産党いなべ市議団　衣笠民子　岡 恒和

衣笠民子（きぬがさたみこ）

↑録画配信サイトへ

受け身ではない積極的取り組みを

有機農業、オーガニック給食への取り組み

Q　オーガニックビレッジ宣言を目指す時期は。

A　具体的な時期は未定。

Q　将来的にオーガニック給食はすべての学校で、すべての給食をオーガニック給食にする方向なのか。

A　まずはオーガニック食材の安定供給体制の確立が大きな課題。

Q　地域で有機農業に取り組もうという大人たちのモチベーションを上げるためにも「いなべ市の子どもに食べさせたい」ということは大事。給食を自校方式でしている北勢町4校の小学校から取り組み始めて、有機農業をする人をつくっては。

A　入り口はそうなるのではないか。

学校体育館のエアコン設置

Q　国の緊急防災減災事業の有利な補助金を利用して一次避難所である学校体育館のエアコン設置に取り組む予定は。

A　考えていない。災害時は必要に応じて大型エアコンで対応。

Q　災害時だけでなく利用できるということで提案した。高温化だが学校体育館での授業はどのようか。

A　雨天、外が高温時に体育の授業で使っているが、窓を開けたり風通しを良くすればなんとかいける。

下水道料金の改定

Q　令和6年4月から下水道料金が値上げされる。物価高騰が続く中、延期しては。

A　議会で慎重な審議をして決定されたので、私から覆す提案はできない。

暮らしを支える公共交通

Q　北勢線に1.3億円、福祉バスに1.3億円を引き続き投じる記述しかない。暮らしを支える地域公共交通の施政方針はそれだけか。

A　それだけ。

Q　運転手不足との認識が記述されている。対処は。

A　引き続き運転手の確保を要望していく。

Q　運転手を正規職員として順次採用をしてはどうか。若い人にとっては働く場になり、継続していなべ市に住む人をつくる施策になる。

A　1つの提案として聞いておく。

保育園の認定こども園への移行

Q　変わる点は。

A　名称の変更。保護者の就労時間が月48時間未満の場合および求職活動期間が3カ月を超える場合には2号認定児童から1号認定児童になる。1号認定児童は保育の終了時間が13時となる。

Q　1号認定児童（13時まで）と2号認定児童（16時まで）は同じクラスで同じ保育を受けるのか。

A　はい。

Q　保育園の時は16時まで友だちと過ごしていた一部の子たちが1号認定児童になると13時までとなり、3歳以上の保育料は無料となっているのに16時までの延長は有料になるのか。

A　はい。

子育てしやすいまちづくり

Q　子どもの医療費の窓口無料を県制度の就学前まで以上実施している、または実施を予定している三重県内市町は。

A　15歳まで四日市市、鈴鹿市、名張市、伊賀市、菰野町、川越町。18歳まで桑名市。

Q　県が実施をすればいなべ市でも実施とのことだったが、県制度を待たずに実施が広がっている。実施の考えは。

A　県と県の医師会が調整してほしい。

社会教育施設の整備

Q　社会教育施設の修繕のための設計が令和6年度予算で計上された。経過は。

A　大安公民館のトイレの修繕は大規模改修の際にとのことだったが、利用者にこれ以上不便をかけられないため。

空き家の有効活用

Q　子育て世帯向け市営住宅として市が管理して、子育て世帯を呼び込んだらどうか。

A　空き家を提供してくれる人が少ないことが問題。

3月定例会
（2月21日～3月22日）

補正予算や条例の制定などを含む38議案を審議

議案第6号　保育所条例の一部を改正

賛成多数で可決

ほくせい保育園を民営化と、市立保育所を認定こども園へ移行させるため

質疑

Q ほくせい保育園を民営化することになった理由は。

A 新しい施設で起債の償還等の問題がない園を選んだ。

Q 保護者への説明は、いつ、どのように行うのか。

A 議会で可決されたあと、保育園と保護者会と調整し5月から6月の間に実施する予定。

Q 認定こども園にすることで、保護者にどのような変化が起こるのか。

A 保護者の労働が月48時間未満や保護者が働いていない3歳以上の児童は、入所要件なしに入園できる。また、降園の時間が早くなる。

議案第13号　財産の無償譲渡（ほくせい保育園をいなべ市社会福祉協議会へ）

賛成多数で可決

いなべ市立ほくせい保育園の効率的な運営を図るため、社会福祉法人いなべ市社会福祉協議会に建物を無償で譲渡する

譲渡されるほくせい保育園

質疑

Q これまで民営化した保育施設を法人へ譲渡してきたが、維持管理の負担はどうしているか。

A 補助金交付要綱で補助基準を定めており、申請により補助金を交付している。建物の建設や大規模改修に要する費用は国からの補助を受けた以外の1/2を市から交付している。

議案第22号　令和6年度いなべ市一般会計予算

賛成多数で可決

水素エネルギー活用促進事業 …… 4,127万円

質疑

Q どのように利用していくのか。

A 公用車を燃料電池車に更新。給食配送車の市販化を待ち導入する予定。福祉バスやスクールバスについても導入を見込んでいる。また、市内企業にはSDGsの取り組みを行ってもらい、燃料電池車の燃料を無償開放していく予定。

Q 市民にニーズはあるか。

A 環境に配慮した車に乗ることは、市民も企業も関心が高まっている。電気自動車、燃料電池車問わず、車の所有の考え方が変わってくると思う。

阿下喜ビジターセンター整備事業 …… 1億2,646万円

質疑

Q 完成時期は。

A 令和6年度中の完成を目指す。

Q 最初はカートラベルの拠点とレンタサイクルの拠点をつくるという話だったが。

A 計画自体の大枠は、令和5年度当初と変わっていない。

消防団施設整備事業（消防団車両更新事業）…… 1,945万円

質疑

Q いなべ市全域でつくられている女性消防団の車両はどこへ配置するのか。

A 活動拠点は主に市役所になっているので、庁舎に配置する。

消防団施設整備事業（北勢西分団詰所整備事業）…… 1億3,587万円

いなべ市防災拠点倉庫の隣に整備

消防団施設整備事業（大安東分団詰所整備事業）…… 1,826万円

旧郷土資料館を解体し、詰所を整備するためアスベスト調査と設計を行う

消防団施設整備事業（藤原地区消防団詰所整備事業）…… 2,411万円

旧藤原庁舎を解体し、詰所を整備するためアスベスト調査と設計を行う

感染症予防事業（帯状疱疹ワクチン費用助成）……1,018万円
帯状疱疹ワクチンの接種費用の半分を助成　　生ワクチンの場合……上限4,000円／回
不活化ワクチンの場合…上限10,000円／回×2回

校外活動事業（小学校）（小学校水泳授業指導委託業務）……1,451万円
新しく建設した温水プールを利用して、専門のインストラクターによる水泳の授業を行う

施設更新事業（宇賀配水池建設工事）……5億円
宇賀配水区域内への安定供給のため宇賀配水池の増設工事を行う

下水道施設整備事業（集中監視システム改修工事）……6,000万円
下水道の集中監視システムが導入から30年以上経過しており、マンホールポンプの作動状況の把握が困難なためシステム改修を行う

★賛成と反対が分かれた議案と審議結果

○は賛成　●は反対　　小川幹則議長は採決に加わらない。（可否同数の場合は議長裁決）

会派 / 議案名	付託委員会	審議結果	いなべ未来					新風いなべ				創風会			新生つばさ			日本共産党いなべ市議団		無会派
			寺輪博樹	小川幹則	岡英昭	位田まさ子	林正男	多湖公	篠原史紀	出口日佐男	片山秀樹	小寺徹翁	伊藤智子	清水隆弘	伊藤三保	原田敬司	渡辺一弘	岡恒和	衣笠民子	西井真理子
議案第5号 いなべ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	都	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議案第6号 いなべ市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	都	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議案第13号 財産の無償譲渡について（いなべ市社会福祉協議会への譲渡）	都	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議案第14号 財産の減額貸付けの変更について（株式会社温泉道場への減額貸付け）	総	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議案第22号 令和6年度いなべ市一般会計予算	予	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議案第23号 令和6年度いなべ市国民健康保険特別会計予算	予	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議案第24号 令和6年度いなべ市後期高齢者医療特別会計予算	予	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議案第27号 令和6年度いなべ市下水道事業会計予算	予	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○

（付託委員会／ 総：総務経済常任委員会　都：都市教育民生常任委員会　予：予算決算常任委員会）

討VS論

本会議において「賛成」「反対」の討論があったもの

議案第5号　いなべ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定　賛成多数で可決

反対討論

衣笠民子

暮らしが大変になる中の値上げは許されない

人口減少、超高齢化社会、低所得の被保険者が多く、医療の高度化等による医療費の増加で財政は厳しい。構造的に行き詰まっている。県が財政運営の責任主体に変わったが、国の負担を増やすことなく改善はできない。ペナルティーが課され自治体の自由度が減った。雇用者負担がなく保険料は協会けんぽ等の約2倍。均等割があり、子どもが1人増えれば保険料増で、少子化対策に逆行。物価高騰で市民の暮らしが大変。値上げは許されない。

賛成討論

出口日佐男

県が示す標準保険料率に合わせて税率を改正すべき

平成30年度から国保財政の県域化によって、県が財政運営の責任主体となり、各市町は県が示す標準保険料率に従って保険料を徴収している。本市では過去に一般会計等から法定外繰入を行ってきたが、一般会計からの法定外繰入に補助金減額のペナルティが課せられるため、令和4年度から県に準拠した保険税率としている。決算剰余金も大幅に減少し基金もない状態で、県が示す標準保険料率に合わせて税率を改正せざるを得ない。

議案第6号　いなべ市立保育所条例の一部を改正する条例の制定　賛成多数で可決

岡　恒和

保育事業や施設は、次代の住民の財産

市立ほくせい保育園の民営化がふくまれるが、保育事業の中核は、住民福祉の増進として地方自治体が担うべきであり反対。公立保育所は、保育の質を直接保障し、保育基準ともなる。また保育事業は公の施設、事業であり、保護者は単に利用者としてではなく、主権者として運営にかかわれる。さらに、保育事業や施設は、次代の住民の財産として引き継がれる。民営化は、保育をサービスとして提供できるものの、先の二点についての役割は持たない。

多湖　公

認定こども園移行によりすべての子どもを預けられるようになる条例改正

子ども・子育て支援法施行規則により、保護者の就労時間が月48時間未満に係る経過措置は10年間である。経過措置の終了により就労時間が月48時間以上の保護者しか預けられなくなる。しかし、本条例改正によって、就労時間が月48時間未満の保護者も9時～13時までは預けられるようになる。現状いなべ市は就労時間が月48時間以上の保護者が100％となっており、この条例改正により預けられる保護者が増えることになるので市民サービス向上につながる。

議案第13号　財産の無償譲渡について（いなべ市社会福祉協議会への譲渡）　賛成多数で可決

岡　恒和

譲渡する側と譲渡先が同一人であることも問題

反対理由はいなべ市立ほくせい保育園を民営化し、社会福祉協議会に無償譲渡しようとするものであること。また、社会福祉協議会の代表は、市長本人であり、譲渡する側と譲渡先が同一人であることも問題。民法上は、「双方代理」にあたり、契約が無効とされる場合もある。同一人だったから譲渡が行われたのではないか。もし違っていても同じことが行われたか。市の政策決定に影響を与えたのではないか。大いに疑問。

多湖　公

保育園の運営の安定と保育の質を落とさないための無償譲渡

保育園の経営がいなべ市から社会福祉協議会に移行することによる無償譲渡だが、保育を受ける市民（園児）に変わりはなく、園長、保育士も変わらず、子育てに関する公共性の高さも変わらない。いなべ市から社会福祉協議会へ支援するのも、社会福祉協議会が公共性の高い事業だからこそ経営に支障をきたしてはならない。無償譲渡は経営に支障をきたさないように、また保育の質を落とさないように支援するためのものだ。

議案第14号　財産の減額貸付けの変更について（株式会社温泉道場への減額貸付け）　賛成多数で可決

岡　恒和

本来額からどの程度減額するのか明らかにされていない

株式会社温泉道場に対し、改装された阿下喜温泉と駐車場土地を、減額して貸付けようとするもの。質疑で減額の中身は、「純利益の20%」と明らかにされたが、実際にどの程度かは「0から数百万円」と答えるのみ。また本来の貸し付けであればどの程度の貸付料となるのかとの質問には答えなかった。市民の財産を減額して貸付けるのであれば、本来の額からどの程度減額することになるのか明らかにされなければ議員として判断できない。

片山秀樹

市、市民、事業者が全て善（よし）

株式会社温泉道場との新たな契約により今までの指定管理料約4,700万円がいらなくなり、純利益の20％を還元されるこの事業に対する今回の議案による効果は①駐車場の拡張と宿泊棟の増築は市民へのサービス向上の為で公共性が高い。②集客増、滞在時間増による売上増、利益増といなべ市への還元額増が見込まれる。よって、いなべ市、市民、事業者の三方よしとなる。

議案第22号　令和6年度いなべ市一般会計予算　賛成多数で可決

衣笠民子

受け身ではない積極的取り組みを

施政方針に「なれば」「すれば」と消極的で受け身な姿勢が際立つ。オーガニック給食では「供給体制が整えば」、空き家対策については「登録してくれれば」、運転手不足は「募集に応えてくれれば」など。学校給食にオーガニック野菜を取り入れるからとオーガニック農業者をつくっていく、空き家を活用し若い世帯向け市営住宅を、運転手を正規職員で、保育士不足は市の保育士の採用をなど積極的な取り組みに転換することを求める。

清水隆弘

市民の命を守るための予算

本予算は市議会で国に意見書を提出した念願であった帯状疱疹ワクチン予防接種の補助金、地域食堂活動補助金、PFAS・PFOAの検査費用など、市民の安心安全な暮らしの実現、市民の命を守る予算。また、水素ステーションはカーボンニュートラル、SDGs、持続可能な都市、未来への投資である。他にも予算化してほしいことは多々あるが、予算執行にあたっては、市民の要望、期待に十分に応えられるよう、適正に執行されることを望み、賛成する。

議案第27号　令和6年度いなべ市下水道事業会計予算　賛成多数で可決

反対討論

岡　恒和

この時期の引上げは いったん見送るべき

引き上げは決定事項ではあるものの、政府は物価高騰対策として1億8,700万円を措置し、主に低所得者に給付予定。令和6年度では、物価高騰対応事業として、約2億7,000万円の定額減税が予定されている。物価高騰に苦しむ市民へ政府が手当てしているときに、公共料金を引き上げてよいのか。引き上げ幅約37％の節約は、お風呂に毎日入っている家庭は、週4日程度に節約を強いられる。国の物価高騰対策に合わせ、この時期の引き上げはいったん見送るべき。

賛成討論

出口日佐男

使用料改定を含め 経費縮減に努めた予算

本市の下水道は、整備されてから30年が経過し施設の更新時期を迎えており、今後も多額の投資が必要となる。そうした中、老朽化に加えて処理規模が小さく、維持管理が割高な農業集落排水施設を公共下水道に統合することで、経費縮減に努めた予算編成となっている。使用料の改定も、一気に国が示す単価にするのではなく、市民の負担を軽減すべく激変緩和措置として二段階方式にしたことは、令和4年第4回定例会で可決された事案だ。

3月定例会議案

★全会一致で可決および承認した議案等

諮問第1～3号　人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める…法務大臣に推薦するもの

同意第1号　副市長の選任につき同意を求める…副市長に選任するもの

同意第2号　教育長の任命につき同意を求める…教育長に任命するもの

同意第3号　固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求める…固定資産評価審査委員会の委員に選任するもの

議案第1号　行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正…法改正の見直しに伴い改正するもの

議案第2号　税条例の一部を改正…督促状の発送期限を納期限後30日以内と定める

議案第3号　市職員等の職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正…市職員の消防団活動について職務に専念する義務を免除

議案第4号　会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正…地方自治法の一部を改正に伴い改正するもの

議案第7号　特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正…アナログ規制を改めるなどするため

議案第8号　介護保険条例の一部を改正…介護保険料を多段階化し、介護保険料額を定めるためもの

議案第9号　指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正…人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正

議案第10号　教育研究所の設置に関する条例の一部を改正…組織の名称を変更するため

議決結果一覧表

※議案名は省略しています

議案第11号　市史編さん委員会条例の制定…いなべ市史編さん委員会を設置するため

議案第12号　水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正…東貝野地区及び貝野川右岸地区の農業集落排水を公共下水道へ接続するため

議案第15号　いなべ市道路線の認定…宅地開発によって新設された道路を認定するもの（5路線）

議案第16号　いなべ市道路線の変更…起点又は終点を変更するするもの（2路線）

議案第17号　いなべ市道路線の廃止…一般に使われなくなった市道を廃止するもの（1路線）

議案第18号　三重地方税管理回収機構規約の変更に関する協議…森林環境税に係る滞納整理事業を加えるため

議案第19号　令和5年度いなべ市一般会計補正予算（第7号）

議案第20号　令和5年度いなべ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

議案第21号　令和5年度いなべ市介護保険特別会計補正予算（第3号）

議案第25号　令和6年度いなべ市介護保険特別会計予算

議案第26号　令和6年度いなべ市水道事業会計予算

議案第27号　令和5年度いなべ市一般会計補正予算（第8号）

議案第28号　令和6年度いなべ市一般会計補正予算（第1号）

発議第1号　防災・減災、国土強靱化対策の拡充を求める意見書の提出について

議案に対してご意見をいただきました

詳しくはホームページをご覧ください

市民生活に影響があると思われる議案について、市民の皆さまから議案に対するご意見を募集しました

いなべ市立保育所条例の一部改正
（いなべ市立ほくせい保育園を民営化・市立保育園を認定こども園に）

- 保育園の民営化はすべての園で早期に完了させるべき。認定こども園化は行うべきではないと思う。さらに研究をすすめて、メリット、デメリットを洗い出すべき。

水素エネルギー活用促進事業

- 自動車産業企業と連携して、カーボンニュートラルに取り組めるのはいなべ市の強みだ。他の行政では真似できない１歩も２歩も進んだ街づくりに期待する。

健康アプリ事業

- メニューの拡充を希望する。

（仮称）阿下喜ビジターセンター整備事業

- 必要不可欠である。

阿下喜地区観光駐車場整備事業

- 高速開通後、自家用車でのアクセスをよくすることで魅力ある街づくりに繋げてほしい。

議会発議により

国に意見書を提出

防災・減災、国土強靱化対策の拡充を求める意見書

１月１日に最大震度７を観測した令和６年能登半島地震により、特に、能登半島において甚大な被害が発生した。能登半島は三方を海に囲まれ交通網が脆弱であることから、災害時のアクセスルートの確保など様々な課題が浮き彫りとなった。今回の震災から得られた教訓も生かしながら、引き続き、災害に屈しない強靱な国土づくりを進めることが必要である。

現在、令和７年度までを実施期間とする「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策（以下「５か年加速化対策」という。）」により、国と地方が一体となってハード、ソフトの両面から、防災・減災、国土強靱化対策を集中的に実施しているが、対策が必要な箇所はいまだ多数存在するため、中長期的視野に立って具体的目標を掲げ、取組の加速化・深化を図ることが極めて重要である。

本市においても、５か年加速化対策を活用し市域の強靱化対策を強化してきたところであるが、発生が危惧される南海トラフ地震等に対して事前防災及び減災の取組を引き続き推し進め、市内の脆弱な社会インフラを整備し、機能を維持する必要性はいまだ高く、今回の能登半島地震の教訓をふまえ、その重要性は高まっている。

また、地域住民の安全・安心を確保し、大都市部への過度な一極集中から脱却するためにも地方の強靱化対策は必要不可欠である。

よって、本市議会は、国において、防災・減災、国土強靱化対策をより一層推進するために、下記の措置を講じることを強く要望する。

記

1　５か年加速化対策期間完了後においても、昨今の甚大な被害をもたらす地震・豪雨・豪雪などの災害の状況も踏まえた上で、切れ目なく、継続的・安定的に国土強靱化の取組を進めるため、必要な事業規模を十分確保した国土強靱化実施中期計画を令和６年内に策定すること。

2　道路や電気・通信・上下水道等のライフラインの寸断など能登半島地震による甚大な被害に鑑み、国土強靱化実施中期計画の策定にあたっては国土強靱化の対象事業を拡大するとともに耐震化の更なる強化等を行うこと。また、資材価格の高騰や賃金水準の上昇も踏まえ、別枠による必要かつ十分な予算の確保など、対策の抜本的強化を図ること。なお、その配分に当たっては、社会資本整備の遅れがみられる地方に十分配慮すること。

3　令和６年度で終了することとされている緊急浚渫推進事業や令和７年度で終了することとされている緊急防災・減災事業や緊急自然災害防止対策事業等については、地方公共団体の取組状況を踏まえ、適切に検討を行い、延長するとともに、地方の実情に沿った、より活用しやすい地方債制度にするなど地方財政措置を拡充すること。

4　社会資本の適切な整備及び管理に加え、災害発生時の迅速かつ円滑な対応等のため、国の地方整備局を含め、現場に必要な人員の確保や体制の維持及び充実を図ること。

提出先　衆議院議長　額賀福志郎 様　参議院議長　尾辻　秀久 様　内閣総理大臣　岸田　文雄 様　総務大臣　松本　剛明 様
財務大臣　鈴木　俊一 様　国土交通大臣　斉藤　鉄夫 様　内閣官房長官　林　芳正 様　国土強靱化担当大臣・内閣府特命担当大臣　松村　祥史 様

一般質問 市民の声を届ける

9議員が登壇!!

質問通告項目は以下のとおりです。

一般質問は市政全般に対して質問を行います。一般質問の内容についての記事は各議員の責任において掲載しています。なお、要約して掲載しています。

寺輪　博樹 …… P14
1　市民の命を守る道路整備について
2　福祉バスについて

出口日佐男 …… P15
1　いなべ市からの情報が市民にどの程度伝わっているか

多湖　　公 …… P15
1　保育士の確保と保育体制を充実するために
2　「こどもまんなかいなべ市」を実現するために

小寺　徹翁 …… P16
1　防災対策について
2　救急車の運用について

伊藤　智子 …… P16
1　給食食材の地産地消・オーガニック化を推進するために

伊藤　三保 …… P17
1　成年後見制度の利用促進を
2　終活支援の仕組みづくりを
3　フレイル予防のさらなる促進を

原田　敬司 …… P17
1　災害対策について
2　不登校について
3　登下校見守りボランティアについて

岡　　恒和 …… P18
1　会計年度任用職員の任用および待遇等について問う
2　員弁町平古字二之郭中　いなべ市所有道路の損壊等について再度問う

西井真理子 …… P18
1　市の活性化の一翼を担う北勢線を目指して

←動画配信サイトへ

いなべ未来
寺輪　博樹（てらわ　ひろき）

命を守る道路整備の取り組みは

答／三重県と協議、検討していく

Q　国道、県道の除草範囲、除草頻度を市は承知しているか。

A　除草範囲は、国道、県道の指定した区間を路肩より0.5mの範囲、歩道が設置されているところは歩道境界0.2mを年1回実施すると聞いている。

Q　市民、自治会から国道、県道の除草の要望があった場合、国、県の対応は。

A　国道、県道の管理者は三重県になるので、国が対応することはない。桑名建設事務所でその都度対応してもらっている。

Q　市民にとって国道・県道・市道ということは関係なく、危険なところは早急に何とかしてほしい。より迅速に対応できるように地元の協力やパトロールを活用して対応しては。

A　県と協議、検討していく。

福祉バスの運用について問う

Q　日中の時間帯の利用者数は。

A　割合では約56％。全体的には朝夕より多いが、路線によっては朝夕が多く、通学、通院の利用が多いところもある。

Q　福祉バスに関して市民の満足度はどの程度か。

A　乗車実績が満足度の一つと考える。利用者の要望や意見は、優先順位を決めて実施していく。

Q　デマンドAI共同送迎、現行の運行、それぞれのメリット、デメリットは。

A　デマンドはエリアでカバーするものと考えており、福祉バスは市内全域をカバーするイメージで運行。デマンドと無料バスとの2つのモード運用は考えていない。複数のモードの導入は、コストの面や運転手の確保などハードルが高くなる。

福祉バスを利用する市民

←動画配信サイトへ

新風いなべ
出口日佐男（でぐちひさお）

市の情報が市民に伝わっているか

答／複数媒体で発信し、届けている

Q 複数の媒体とは何か。

A 情報誌Link、ホームページ、SNS（インスタグラム、X）、いなべ10、まいめる、いなべFMの他に「カタログポケット」、情報配信アプリ「マチイロ」、行政情報発信アプリ「いなポケ」を導入。

Q そのアプリにはどのような機能、特性があるのか。

A カタログポケットは、日本語を含め10言語に対応した翻訳機能と音声読み上げ機能がある。マチイロの情報は、自治体広報紙と議会だよりに限定されているが、無料で掲載できる。
いなポケは、市のホームページを集約したもので、新着情報をプッシュ通知すれば情報を受け取れる。

いなポケ

Q 「ほしい情報になかなかたどり着けない」という意見を聞く。アクセ・シビリティ（利用しやすさ、便利さ）の向上は。さらに視覚障がい者、聴覚障がい者への対応は。

A 視覚障がい者も読みやすいとされるユニバーサルデザインフォントで表示。
動画の作成は、画面上に文字を表示させている。

Q 市民が知りたい情報と市民が必要としている情報の効果測定は。

A 効果測定は行っていないが、常に「市民が必要としている情報は何か」を念頭に置きながら、広報活動を実施している。

Q 今後さらに成果を出すための手法は。

A 市民が利用する情報媒体が多岐にわたるようになり、今後さらに情報媒体の増加、技術が進化していく。市民が求めている情報を少しでも多く伝えられるよう努めていく。

←動画配信サイトへ

新風いなべ
多湖公（たごこう）

保育士確保と保育体制の充実は

答／デジタル化して保育士の負担軽減

Q 保育士の新規採用確保に向けて、正規職員採用時に就職祝い金15万円交付することになったが何人の応募があったか。

A 令和6年度の市内私立保育園の採用予定者数は、令和5年度末までに15名の申請がある見込み。

Q 過去保育士の応募が多いのはどのルートか。

A 市の会計年度任用職員として令和2年以降採用した14人は、全員が本人からの申し出。私立保育園の正規職員の応募は、新卒が最も多く、続いて経験者の転職や復職となっている。

員弁西保育園

Q 保育士のスキルアップのために定期的に研修をしているか。

A 市が主催する集合研修を年3回。年齢別研修を年2回。巡回研修を年35回、各保育園で実施している。

Q 勤務体制でデジタル化の効果は表れているか。

A 保育士の業務負担が軽減され、子どもと関わる時間が増えた。

「こどもまんなかいなべ市」の実現は

Q どのように、こどもや若者の権利を周知していくのか。

A 関係各部署と連携し、こどもや若者の権利周知について有効な方法を考えていきたい。

Q こどもや若者の意見表明について、「第3期計画策定の基礎となるアンケートをこどもたちにも実施する」とあったが、「対話しながらともに進めていく」という視点での施策を何か考えているか。

A こどもや若者への意見聴取は、SNSを活用した意見募集やWEBアンケートの方法等を検討している。

←動画配信サイトへ

創風会
小寺 徹翁（こでら てつお）

救急車の適正利用で命を救う

答／LinkやいなべFMで呼びかけ

Q 先に松阪市が、救急搬送された患者のうち入院に至らなかった軽症患者から選定医療費を病院が徴収すると公表した。国内においても重症患者への対応の遅れなどに対応すべく、救急車両の有料化が検討されている。本市での検討は。

A 救急業務を桑名市に委託しており、現段階では有料化は考えていない。

Q 救急出動件数のうち、不搬送件数の内訳は。

A 令和2年から令和4年までの3年間で403件。理由としては、死亡が特に多い。また搬送辞退や搬送拒否も増加傾向にある状況。

Q 緊急搬送のうち令和4年度中の47.3%（全国値）が入院加療を必要としない軽症である。救急車の適正利用が求められているが、本市の取り組みは。

A 情報誌LinkやいなべFMを通じて市民に呼びかけている。

市民参加型の「災害に強い」まちづくりを

Q 災害時要配慮者への支援について、難聴者や外国人などコミュニケーションが困難な場合の情報提供で工夫している点は。

A 聴覚障害者へは手話や筆談など意思疎通方法を確認。外国籍の方へは、避難所情報伝達キットを用意している。

Q 能登半島地震においても、子どもや妊産婦など女性が声を上げにくく、車中泊を余儀なくされたが、女性の視点を取り入れた避難所運営などの対策は。

A プライバシー確保や女性の視点を取り入れ、間仕切りなどを用意。

いなべ消防署北分署の救急車

←動画配信サイトへ

創風会
伊藤 智子（いとう のりこ）

オーガニック給食に必要なことは

答／有機農産物生産者の育成と支援

Q 令和6年度施政方針でオーガニックビッレッジ宣言を目指し供給体制が整えばオーガニック給食を行うと示された。子どもたちにとってのオーガニック給食の価値とは。

A 有機農産物を使うことによってより安心安全で栄養価が高く良質になる。さらには地産地消で地元の活性化や環境改善につながるという価値がある。

Q 今後の取り組みは。

A 社会科や家庭科等での授業、農産物の栽培・収穫等の体験活動、食育の授業をはじめ毎月の給食だよりなどでも、食と地産地消の重要性を取り上げ児童生徒・家庭・地域へ情報発信し、意識付けや啓発を進めていく。そしてオーガニック食材の供給体制が整えば取り入れていく考えである。

Q オーガニックビッレッジの創出は。

A 最初に取り組むことは有機農業の生産段階の推進であり、有機農産物の生産者の確保・育成である。他市町の先進事例等を参考に、計画の策定に向けた検討を始める。

Q 今後、有機農産物を生産しようとする農業者への市からの手助けは。

A ①生産者が化石燃料、化学肥料、化学農薬の削減にどれだけ取り組んだかわかる「見える化」ラベル取得への支援。②有機JAS認証取得費用の2分の1（上限10万円）を補助。③認定を受けるための計画を作成する支援をし、各種支援措置が受けられるようにする。

有機農業とは
1. 化学的に合成された肥料及び農薬を使用しない
2. 遺伝子組換え技術を利用しない
3. 農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減する農業生産の方法を用いて行われる農業のこと
（農林水産省ホームページより引用）

←動画配信サイトへ

新生つばさ
伊藤三保（いとうみほ）

終活支援の仕組みづくりを

答／「終活ノート」を活用し支援する

Q 市民の人生の最期をどのようにサポートしていくのか、行政の役割を考える必要があると考えるが、本市の考えは。

A 無料で配布している終活ノートを活用し、地域の互助の力を大切にするという福祉の視点をもって、「ACP（人生会議）」の普及や推進をしていくことが、終活に関わる支援としての行政の役割と考える。

いなべ市の終活ノート

Q 横須賀市では、身寄りのない高齢者のための葬儀、納骨などに関する心配事を解決する事業に取り組んでいるが、本市で取り組む考えは。

A 何かあったときの地域で助け合う互助をすすめ、地域の見守りを進めていくことに重点を置き、現段階で取り組む考えはない。

成年後見制度の利用促進を

Q 少子高齢化が急速に進む中、高齢者人口増加に伴って、成年後見制度の利用者数は年々増加しているものの利用が進んでいるとは言いがたい。どのように普及啓発するのか。

A 障がい児・者および高齢者の福祉サービス事業所や関係機関への周知・啓発に力を入れたい。令和6年度は、地域のふれあいサロンや民生委員・児童委員への研修を実施する予定。

※フレイル予防のさらなる促進を

Q 現状の課題解決のために取り組んでいることは。

A フレイル予防の場は充実してきたので、活動内容の充実を検討している。

Q フレイル予防には、毎日の行動を記録することも有効である。「いなべげんき健康あぷり・いなべる」の記録の欄に、その日の自分の行動を書き込めるメモ機能を追加する考えは。

A 今後検討する。

※フレイル…加齢や疾患によって身体的・精神的なさまざまな機能が徐々に衰え、心身のストレスに脆弱（ぜいじゃく）になった状態のこと。

←動画配信サイトへ

新生つばさ
原田敬司（はらだけいじ）

災害に対しての備えは

答／計画を策定し準備している

Q 市民の安否確認の現行体制は。（市民、要配慮者など）

A 職員で連携し安否確認をするが限界があるため、自治会を中心とする共助にて安否確認をお願いすると共に、救助関係機関と連携して把握に努めたい。また、要配慮者の安否確認は福祉委員会や自治会等に配布している避難行動要支援者名簿を活用し、共助にてお願いすると共に、福祉部や民生・児童委員と連携し迅速な把握に努めていく。

Q 発災時の職員それぞれの行動、市民対応の周知を図っているか。

A 災害発生時は初動体制を迅速に構築するため、風水害および地震の参集基準を明確にし、職員に周知している。災害規模やフェーズ（段階）によって体制および災害業務が異なるため、その都度災害対策本部の指示で活動を実施。また、各部局が作成する災害対応マニュアルや地域防災計画の所掌事務を、職員一人一人が事前に把握するよう引き続き周知していく。

Q 自治会長への研修、説明会などは実施しているか。

A 自治会長への研修や説明会などは実施していない。しかし、毎年、地域から訓練指導や防災研修の要望があり、市として積極的に出向き、訓練指導や防災に関する研修会を実施している。今年度も9つの自治会に出向き防災に関する講話や応急手当等の指導を消防団と一緒になって行い、防災に関する啓発、防災力の強化に努めている。

地域の防災訓練（地震体験車）のようす

←動画配信サイトへ

日本共産党いなべ市議団
岡　恒和（おか　つね　かず）

期末手当に対する国の財政措置は

答／そこまでは把握していない

Q 会計年度任用職員制度を繰り返し問うのは、せめて同一労働同一賃金という法制度に沿ったものにしなければとの強い思いからだ。任用の違いはあっても、協力し合って職務を遂行することが市民サービスの向上、さらにお互いの気づきを共有できれば、最良の危機管理につながる。
年末に市民から直接、間接に期末手当支給を、ありがたいとの声をもらった。しかし「けど、少しの違いで支給されない人がいて、素直に喜べない」という評価もされた。
総務省は、令和４年度に関し、「地方財政計画において、全国の地方団体に対して行った調査の結果を踏まえ、所要額として 1,738億円を計上しており、普通交付税の算定においても、適切に反映している」と述べている。
期末手当支給に対し、国の財政措置があるのでは。

A そこまで把握していない。

Q 財政措置が確認されたら支給要件や支給月数の見直しは可能か。

A 確認して今後検討する。

Q いなべ市と接する市町では、東員町が総数326人に対しフルタイム任用が45人、フルタイム割合14％、桑名市が703人中134人で19％、菰野町が274人中142人52％、四日市市が2,727人中347人13％となっている。パートタイムからフルタイムに見直しても定数には関係しないと確認できるか。

A フルタイムは定数に含まれない。

員弁町平古字二之郭中　いなべ市所有道路の損壊等について再度問う

Q 土壌溶出量調査で環境基準を超えるフッ素及びその化合物が検出された。汚染の広がりなど調査をするか。

A 県と協議をし、対応する。

土壌溶出量調査結果から一部抜粋

フッ素及びその化合物　mg/L　0.9

←動画配信サイトへ

無会派
西井真理子（にしい　まり　こ）

一翼を担う北勢線の取り組みは

答／謎解き列車を開催予定

Q 前回市長が明らかにしたビジョン、「子どもたちが世の中を生き抜く力をつけ、挑戦者を育てていきたい」は、子育て世代の多くから大変喜ばれた。今回は、未来を担う若者が多く利用している「北勢線」について質問する。親の立場からは、子どもの通学に欠かせない重要な鉄道と考える。市長はどのように考えるか。

A 自分も利用していた。市民にとって、なくてはならない公共交通と考える。

Q 北勢線運営のため３市町が負担金を出し合い支援していることは大変ありがたいことである。昨日の答弁より、北勢線事業は３市町の首長が同じ方向を目指すことが必要と理解したがどうか。

A 非常に財政的に渋っている首長もいるので、皆さんで説得してもらえるとありがたい。

Q 地域おこし企業人を活用し、高校生の意見を聞き、謎解き列車を開催予定とのこと。市独自の取り組みか。

A 地域おこし企業人にいろいろ発案をしてもらい、いなべ市へ来てもらえるように市として取り組んでいる。

Q 我が子は交通の便を理由に市外へ引っ越す。私は「将来自分達が育った、いなべ市で子どもを育てよう」そんないなべ市になると信じている。そんな子育て世代の声に共感できるか。

A 束縛はしたくないが、いなべを好んで、選んでもらって、来てもらえる人は歓迎したい。

クイズの応募はがきに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見やご感想を紹介します。
紙面の都合上、すべてを掲載できませんのでご了承ください。お寄せいただいた内容は、できる限り原文のまま載せています。たくさんのお声をありがとうございます。

●公立保育園の保育士の人材確保を切に願います。両親共働きで繁忙期は土曜保育や長期休暇の希望保育を利用しながら子供を育てています。制度を利用し希望用紙を提出しています。ただ、毎回子どもを預ける際に、「家で見てもらえないか？」とお願いされています。勤務できる先生方が足りていないからではないかと思います。これでは安心して子供を預け、働くことができません。未来の子供達のため、親が働きながら子育てしやすい環境整備をお願いいたします。　38歳

●新議員さん期待しています。　75歳

●いなべの魅力を発信するために議員が特産品、観光施設をめぐり体験記事を載せると新しい発見が出来て楽しみが増えると思います。　78歳

●議員の質問の中で、文化財保護や歴史編さんは予算の配分が消極的なのだろうという印象を受けました。
日本国民の平均所得が増えなくなって久しくなりますが、それなりに不要不急のことにはお金がかけられないのだろうと想像します。
かつてはいなべ市（北勢町）に残る古文書の解説を大学に依頼して、その成果を市民講座で報告されたこともありました。数十年前の高度成長期のようにもっと多くの分野にお金が使える日が来ることを願っています。　49歳

●読書が趣味です。どうか図書カードが当たります様に。お願いします。　71歳

●今年も市民の代表として、市民の声を聞いて頑張ってほしいです。　12歳

●今回、初めてちゃんと市議会だよりを読みました。恥ずかしながら、議員の方のお顔も名前も知らなかったのですが、若い方は変えていくことに前向きで、団塊ジュニア世代の方は保守的なようですね。生きてきた時代の常識が違うんだから、それは仕方ないのでしょうが「保障がない」「仕組みがない」と足踏みしていては何も変わりませんよ。学校に生理用品を置くというのはとても良いと思います。…置く置かないに、貧困を把握する必要があるのでしょうか。貧困でもそうでなくても使いますよね。うがった見方をさせてもらえば「トイレットペーパーならともかく、女だけしか使わないものをわざわざ置いてやる必要があるのか？」という声が聞こえてくるようです。女性議員さん、若い男性議員さん、いなべをより良く変えてください！　38歳

●いつもクイズ楽しみにして応募していますがまだ当選したことありません残念。　79歳

●本会議において討論があったものの内容が書かれていて、分かりやすくていいと思いました。保育士配置基準は引き上げてほしいです。　35歳

●№80「よむギカイ」を拝見し、編集後記に記されているように、4人全員の皆様がにっこり顔で指さされた白い花「セツブンソウ」別名「スプリング・エフェメラル」の表紙に心温まるプレゼントを届けていただけたように思います。新たに発足した広聴広報委員会は、市議会の中でも女性が少ないだけに、2名副委員長を担っていただけ、リフレッシュ感と期待感に久々触れさせていただきました。2人の新議員様も御尽力されていることが言葉の行間より伝わり、是非頑張ってください。　70歳

●広聴広報委員会、大変良い内容です。　72歳

●いつも議会の内容が詳しく載っており、拝見しています。笠間保育園の仮園舎がいつまで続くのでしょうか？
また、新園舎の建設に向けてどのようなスケジュールが立てられているのかを知りたいです。　38歳

クイズの解答

ご応募いただき、ありがとうございました。正解者の中から、当選者15名の抽選を厳正に行いました。
当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

正解は
問1 ②春の妖精
問2 広聴広報委員会
問3 いなべ市議会モニター

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

編集後記

爽やかで青葉が美しい季節になりました。新しく令和6年度が始まり、市長から施政方針が出され、各会派代表が市政の方向性を質問しました。

今回は、代表質問・一般質問に加え討論も活発に行われたので、作業が盛りだくさんでした。少しでも市民に伝わるよう、文章や写真・図など、心を配って取り組みました。

皆さんに「よむギカイ」を楽しみに待ってもらえるよう、努めてまいります。

議会モニターをお願いしました!

議会モニターのみなさんと議員

令和6年4月4日（木）に議会モニターの委嘱式を行いました。期間は令和6年4月から令和7年3月31日までです。本会議、委員会をモニタリングしてご意見等をもらい、議会運営に役立てていきます。
議会モニターの皆さん、1年間よろしくお願いいたします。

6月定例議会について（予定）

◆開会日 …… 5月30日（木）
一般質問 …… 6月 6日（木）
6月 7日（金）
総括質疑 …… 6月14日（金）
予算決算常任委員会 …… 6月14日（金）
総務経済常任委員会・分科会… 6月18日（火）
都市教育民生常任委員会・分科会… 6月19日（水）
予算決算常任委員会 …… 6月25日（火）
◆閉会日 …… 6月27日（木）

インターネット配信

中継配信 URL
http://inabe.gijiroku.com/g07_broadcasting.asp

録画配信 URL
http://inabe.gijiroku.com/g07_Video_Search.asp

録音放送

いなべFM（86.1MHz）で議会の録音放送を聴くことができます。
詳しくはいなべ市ホームページにてご確認ください。

議会の傍聴

市議会では本会議、委員会の開催日に傍聴席を開放しています。お気軽にお越しください。
受付場所：いなべ市役所議会棟2階

SNSの配信

市議会の情報を配信しています。

ご意見箱の設置

皆さまのご意見をお待ちしています。
設置場所　市役所1階（正面玄関付近）
議会棟1階（入口付近）
議会棟2階（傍聴席入口付近）

いなべ市議会 議会事務局
〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜31番地
TEL 0594-86-7848　FAX 0594-86-7872
https://www.city.inabe.mie.jp/gikai/

令和6年5月1日発行　発行／いなべ市議会　編集／広聴広報委員会